

施 工 要 領 書

光触媒コーティング

ピュアコートANプラス施工要領書



株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

施 工 要 領 書

改訂 2012年5月30日

工 法：ANプラス（光触媒塗料）

適用下地：一般水性塗料、水性エマルジョン塗料

平滑下地： 各種着色塗材

凹凸下地： 吹付けタイル 装飾仕上げ塗材

(20℃ 70%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所 要 量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (h r)
					工程内
下 地 調 整	・基材（下塗塗料）は十分乾燥させて下さい。 ・汚れや付着物は洗浄やエアブローで除去して下さい。				
上 塗 各種塗装機仕様	ANプラス	既調合	平滑下地 0.08～0.1 凹凸下地 0.1～0.12	2～3 ※	夏季 0.5 冬季 1.0 (ウェットオンウェット 不可)

※ 上記の数値は、施工方法、条件により多少変化する場合があります。

※ 必ず親水性確認を行って下さい。

※ 必ず指定の塗装チップを使用下さい。

※ 横吹き・縦吹き各1回を1回塗として、2回塗が標準の施工方法です。

施工方法

<共通事項>

- ① 下地は水性塗料（ウレタン・アクリルシリコン・フッ素）であることを確認の上施工して下さい。
（溶剤塗料、弱溶剤系塗料にはハジキがあるため使用不可）
- ② ピュアコート AN プラスを塗装直後は白く見えますが乾燥と共に透明になっていきます。
- ③ 規定量以上塗装した場合、白ボケてしまう場合がありますので注意して下さい。
- ④ 缶の底に沈殿物がありますので、施工直前に攪拌機等で完全に沈殿物がなくなる迄攪拌して下さい。沈殿物がないことを確認して下さい。施工中も必ず1時間に1回程度は攪拌して下さい。

塗料缶（ポリ缶）での攪拌方法：

充電ドライバー（市販品：BD123(リョービ製)等）の先端に“まぜペラ（商品名）”（リョービ製）を取り付け、缶底部の沈殿物がなくなるまで攪拌して下さい。

- ⑤ 材料はできるだけ手に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛などを着用する。また顔、手、腕には保護クリームを塗って材料が直接手に触れないようにして下さい。
- ⑥ ご使用前には製品容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。また、MSDS（製品安全データシート）もご参照下さい。
- ⑦ 高性能の塗膜を造るため、必ず上記塗装仕様通りの施工を行って下さい。
- ⑧ 塗装終了時の残材料、洗浄水等を河川に流出させたり、土壤に染み込ませないで下さい。

<気象条件>

- ① 気温5℃以下、湿度75%以上、結露の発生が考えられる場合の施工は避けて下さい。
- ② 施工中、もしくは施工当日に降雨、降雪等の恐れがある場合は施工をしないで下さい。

<材料の保管>

- ① 開封後は14日以内に使いきり、それ以降の施工にまわさないで下さい。
- ② 直射日光にあたる場所、0℃以下での保管はしないで下さい。

塗装方法別注意事項

- ① スプレー塗装機を使用される場合、各塗装機のチップ口径、圧力等をよく確認してから施工を行って下さい。(下記チップを必ずご使用下さい。施工前にホース内を水道水にて必ず洗浄して下さい。ホース内に溶剤が残っている場合、溶剤により塗料が分離して塊ができることがあります。)
 - エアコートガン：チップ
 - ①ターンWチップ (エアコート用)
0940または0950 (0.23mm) 精和産業製
 - ②3000ACチップ
09/40または09/50 (0.23mm) 日本ワグナー製

塗出量6～8Mpa (60～80kgf/c㎡)、エア圧0.2～0.4MPa (2～4 kgf/c㎡)
(ホース長：30m 標準仕様であり、塗装環境により増減します)

 - エアレス塗装機：チップ
 - ①ターンWチップ
0940または0950 (0.23mm) 精和産業製
 - ②トレードチップ2 ファインフィニッシュ
408 (0.20mm) 日本ワグナー製

塗出量4～6MPa (40～60 kgf/c㎡)
(ホース長：30m 標準仕様であり、塗装環境により増減します)

 - カップガン：口径1mm 空気圧2～3kgf/c㎡、パターン幅約30cmになるよう手元でエア調節を行って下さい。コンプレッサ1馬力以上
- ※ 上記の数値は施工条件、施工環境により多少増減します。
- ② 横吹き・縦吹き各1回を1回塗として、2回塗が標準の施工方法です。
壁面から30cm程度ガンの先端を離しながら施工を行って下さい。また塗り残し防止の為、2～3回に分けて施工を行って下さい。また2回目・3回目の塗装の際には、指触乾燥を十分に確認の上、重ね塗りを行って下さい。
重ね塗りの間隔は指触乾燥を目安にして下さい。(夏場：約30分、冬場：約1時間)
 - ② 施工完了後、乾燥した箇所に霧吹きで水をかけて親水性のチェックを行って下さい。親水性が不十分の場合、必要塗布量が塗装されていない可能性がありますので、再度上塗り施工の上、親水性を再確認して下さい。
 - ③ 親水性の確認方法
下地に凹凸があるもの等では親水性の確認が難しい為、確認方法は施工面の横に養生シートなどを張りそのシートも同時に施工すると親水性の確認が容易に出来ます

補修方法

- ① 施工完了してからの補修方法
補修部分を水吹きし再度上塗り施工して下さい。(引っかけ傷等の場合は刷毛を使用して下さい)
- ② 塗料の垂れが残ってしまった場合
ウエス等で叩くように塗料を吸い込ませ、ANプラスを再施工して下さい。
ウエスでとり切れない場合は、ペーパー等で下地を傷つけないように軽く塗料を削って下さい。
- ③ 横風が強い
圧を上げて壁面に少し近づけて施工して下さい。
その際の塗装斑には十分気をつけて施工して下さい。また、それでも施工できない場合は施工を中止して下さい。
- ④ 施工終了後、白ボケ、斑が目立つ
もう一度塗り壁材から塗装して下さい。その際のシーラーは2液溶剤系エポキシプライマーを使用して下さい。

施工に関するお問い合わせ

株式会社ピアレックステクノロジーズ

研究センター 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町 4-14

TEL 0725-22-5361

FAX 0725-22-5363

東京営業所 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-45-9

ヤマナカヤビル 6F

TEL : 03-5940-6075

FAX : 03-5940-6076